

資金繰り3チェック診断シート

項目	なぜ重要か	チェックポイント	改善の方向性
①売掛回収のタイミング	売掛金の回収遅延は、利益が出ていても手元資金不足を招き、資金ショートの原因になる。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 売掛金回転期間（平均回収日数）が同業より長くないか・得意先ごとの入金条件にバラつきがないか ✓ 「未締め翌月末払い」を「未締め翌15日払い」に改善できないか ✓ 入金遅れの常習先が放置されていないか 	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 新規取引時に入金条件を明文化 ❑ 請求書発行の早期化（電子化） ❑ 遅延発生時は即日連絡で支払日確定 ❑ 手形取引の削減や早期現金化（電子記録債権・ファクタリング活用）
②在庫の持ちすぎ	在庫は現金が姿を変えたもので、過剰在庫は資金を“塩漬け”し運転資金を圧迫。保管コストや陳腐化リスクも増える。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在庫回転期間が3か月以上かかっていないか ✓ 長期間動かない滞留在庫の有無 ✓ 発注単位が過剰でないか ✓ 需要予測と在庫量が合っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 低回転在庫を特定・縮小 ❑ 発注点の見直し（安全在庫適正化） ❑ 売れ筋以外は受注生産や小ロット仕入へ ❑ 不良在庫は値下げ・セット販売で早期現金化
③借入返済と運転資金のバランス	返済額が大きすぎると日常資金が不足し、短期資金で長期返済を賄う悪循環に陥る。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 返済額（月額）が営業利益やキャッシュフロー内に収まっているか ✓ 長期借入と短期借入のバランスは適正か ✓ 借換や条件緩和の余地はあるか ✓ 設備投資返済が運転資金を圧迫していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 資金用途に応じた借入（長期用途は長期資金） ❑ 設備資金の返済年数を減価償却期間に近づける ❑ 返済条件変更を早めに銀行相談 ❑ 短期資金枠を確保し一時的不足を補う